

消費税の導入と増税の歴史から学ぶ

* 戦後40年以上も、消費税なしで過ごしてきた

* 国民の抵抗が大きくて、消費税導入を提案してから
施行までに10年の歳月が必要だった

巧妙な
手口

- * 選挙前には増税は言わず、選挙の後に増税する
- * はじめ、高めの税率で提案し、抵抗にあうと低めの税率で提案して通す（例えば5%⇒3%）
- * 例外を作って得する場合があるように見せ、その後、変更する（例えば3千万円以下を免税⇒1千万円以下免税）

国民が消費税減税、廃止の
政党候補者に投票すれば..

**消費税減税、
消費税廃止は可能**

1979	大平政権	一般消費税導入を閣議決定 不評で衆院選直前に撤回したが...	衆院選 過半数割れでポロ負け
1986	中曽根政権	「大型間接税はやらない」と明言	86年7月衆参同日選挙で自民党圧勝
1987	中曽根政権	売上税 5%案を提出	公約違反と猛反発を招き 補選、地方選でポロ負けし廃案
1989	竹下政権	消費税5%ではなく、3%に減額提案 3%消費税を初めて導入(89年4月)	89年6月辞任、7月参院選で自民党ポロ負け
1994	細川連立政権	消費税7%に引き上げる構想を発表(2月)	党内の反対で撤回、その後退陣
1994	村山連立政権	消費税 5%へ(11月 増税成立)	95年参院選で大敗し、退陣
1997	橋本政権	消費税5%施行(4月)	98年参院選で大敗、内閣総辞職
2009	鳩山政権	4年間消費税増税しない約束	
2010	菅民主党政権	10%に増税提案(6月)	10年7月参院選で大敗し過半数割れ
2011	野田政権	増税(14年に8%、15年に10%)提案(6月)、可決(8月)	12年12月16日の衆院選で大敗し政権交代
2014	安倍政権	4月1日 8%に引き上げ(可決済みで施行のみ)	
2014	安倍政権	2015年予定の消費税10%増税を2017年に延期(再延期はしない)と表明(11月18日)	延期表明(11月)後、14年12月末の衆院選で圧勝
2016	安倍政権	10%増税を2019年10月に再延期を表明(6月1日)	表明後16年6月末の参院選で自公合わせて過半数獲得 17年10月衆院選で圧勝
2019	安倍政権	7月に参院選、10月に10%増税を施行、増税後、消費が落ち込む	参院選 自公で過半数獲得(改憲勢力2/3には至らず)
2020	安倍政権	辞任表明(8月末)	
2020	菅自民政権	増税予定を表明(9月)、翌日修正して火消し	← 今、ここ